



<http://www.mod.go.jp/js/>

(お知らせ)

令和 7 年 1 0 月 3 日
統 合 幕 僚 監 部

令和 7 年度自衛隊統合演習（実動演習）について

自衛隊は、下記のとおり令和 7 年度自衛隊統合演習（実動演習）を実施します。

本演習は、陸・海・空自衛隊が統合により演習を行うことで、自衛隊の統合運用能力を維持・向上させるものです。訓練の一部には、米軍及び豪軍が参加し、日米豪の相互運用性の向上も図ります。

記

1 演習の目的

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図る。

2 実施時期

令和 7 年 1 0 月 2 0 日（月）から同月 3 1 日（金）までの間

3 実施場所

- (1) 自衛隊施設（千歳飛行場、三沢飛行場、八戸飛行場、百里飛行場、入間飛行場、小松飛行場、美保飛行場、築城飛行場、芦屋飛行場、新田原飛行場、鹿屋飛行場、厚木航空基地、浜松基地、日出生台演習場、大湊地区、横須賀地区、呉地区、佐世保地区、大村飛行場、小牧基地等）、在日米軍施設及び区域（三沢飛行場、岩国飛行場、嘉手納飛行場、三沢対地射爆撃場、伊江島補助飛行場、米海軍横須賀基地、佐世保海軍基地、川上弾薬庫等）
- (2) 民間空港及び港湾
- (3) 北海道留萌市及び苫小牧市、宮城県仙台市、新潟県佐渡市、愛知県蒲郡市、京都府舞鶴市、宮津市、京丹後市及び与謝郡伊根町、和歌山県西牟婁郡白浜町、高知県須崎市、福岡県京都郡みやこ町、佐賀県唐津市、長崎県佐世保市、大村市、対馬市、壱岐市、五島市、南島原市、東彼杵郡川棚町及び南松浦郡新上五島町、大分県中津市及び杵築市、鹿児島県奄美市、熊毛郡中種子町、熊毛郡南種子町、大島郡大和村、大島郡宇検村、大島郡瀬戸内町、大島郡和泊町及び大島郡知名町並びに沖縄県石垣市、名護市、国頭郡国頭村、島尻郡渡名喜村、八重山郡竹富町及び八重山郡与那国町
- (4) 我が国周辺海空域

4 統裁官

統合作戦司令官

5 主要訓練項目

- (1) 統合任務部隊及び主要部隊司令部における指揮所活動
- (2) 陸上作戦
- (3) 海上作戦
- (4) 航空作戦
- (5) 水陸両用作戦
- (6) 統合後方補給・衛生
- (7) 空挺作戦
- (8) 宇宙、サイバー及び電磁波領域と従来の領域との連携

6 参加部隊等

- (1) 自衛隊
 - ア 幕僚監部等
統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部及び情報本部
 - イ 陸上自衛隊
陸上総隊、各方面隊等
 - ウ 海上自衛隊
自衛艦隊、各地方隊等
 - エ 航空自衛隊
航空総隊、航空支援集団等
 - オ 共同の部隊
統合作戦司令部、自衛隊情報保全隊、自衛隊サイバー防衛隊、自衛隊海上輸送群等
- (2) 米豪軍
 - ア 米 軍
太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍、太平洋海兵隊及び在日米軍
 - イ 豪 軍
国防軍統合作戦本部等

7 演習参加規模

- (1) 自衛隊
人員約 5 2, 3 0 0 名、車両約 4, 1 8 0 両、艦艇約 6 0 隻、航空機約 3 1 0 機
- (2) 米軍
人員約 5, 9 0 0 名
- (3) 豪軍
人員約 2 3 0 名

8 その他

自衛隊統合演習は昭和 5 4 年度に開始され、おおむね毎年実施され、平成 1 8 年度の統合運用体制移行後では、本年度で 1 8 回目（実動演習 1 0 回、指揮所演習 8 回）となります。実動演習と指揮所演習を隔年で実施しており、本年度は実動演習を実施します。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

空挺作戦



水陸両用作戦



統合防空ミサイル防衛訓練



統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の 長崎県における訓練について

本演習において長崎県内で実施する訓練は、

- ① 陸上作戦(協同基地警備訓練)
佐世保米海軍基地、佐世保基地、大村航空基地、福江島分屯基地、上対馬警備所、下対馬警備所、海栗島分屯基地
- ② 水陸両用作戦(洋上搭載訓練、空中機動訓練)
前浜海岸、相浦駐屯地、上五島空港、福江空港
- ③ 航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦戦闘訓練、基地防空部隊等の機動展開訓練)
福江分屯基地、海栗島分屯基地、福江島(福江島分屯基地、高崎鼻、長崎鼻灯台、旧飛行場)
- ④ 統合後方運用(機動(輸送)訓練、物資輸送訓練)
福江空港
- ⑤ 統合電磁波作戦訓練
相浦駐屯地、烏帽子岳
- ⑥ 統合通信訓練
漁火公園、岳の辻園地、五家原岳、虚空蔵山、烏帽子岳
相浦駐屯地、対馬駐屯地、福江島分屯基地、権現山、旧火葬場、虚空蔵山、高慰斗岳

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

長崎県内で実施を検討している訓練内容

①陸上作戦(協同基地警備訓練)

陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空自衛隊の部隊が米軍基地及び自衛隊基地に展開し、各部隊による基地警備訓練、防護施設の構築訓練、小型無人航空機の飛行訓練を実施します。なお、実弾は使用せず、小型無人航空機は人口密集地の上空を飛行しません。

【期 間】 令和7年10月18日(土)～10月28日(火) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を含む
※夜間訓練、空砲使用を含みます。

【参加部隊】 陸上自衛隊(第4師団 第16普通科連隊、第40普通科連隊)
海上自衛隊(佐世保地方隊、対馬防備隊、第22航空群)
航空自衛隊(第15警戒隊、第19警戒隊)

訓練予定場所

【凡例】
○: 訓練場所(自衛隊のみ)
●: 訓練場所(米軍基地)



人数等

基地	展開する部隊
佐世保海軍基地 (メインベース)(針尾弾薬庫) (前畑弾薬庫)(赤崎・庵崎・横瀬貯油所)	第16普通科連隊等 約50名
佐世保基地 (平瀬地区) (崎辺地区)	第16普通科連隊等 約50名
大村航空基地	第16普通科連隊等 約50名
福江島分屯基地	対馬警備隊等 約50名
上対馬警備所 下対馬警備所	第40普通科連隊等 約50名
海栗島分屯基地	第40普通科連隊等 約50名

訓練イメージ



警備訓練



防護施設構築訓練



小型無人航空機の飛行訓練

長崎県内で実施を検討している訓練内容

②水陸両用作戦(洋上搭載訓練)

奄美大島周辺で実施する水陸両用作戦(着上陸訓練)の準備のため、海上自衛隊輸送艦への洋上搭載訓練を南島原市加津佐町の前浜海岸及び周辺海域で実施します。

【期 間】 令和7年10月18日(土)～10月19日(日)

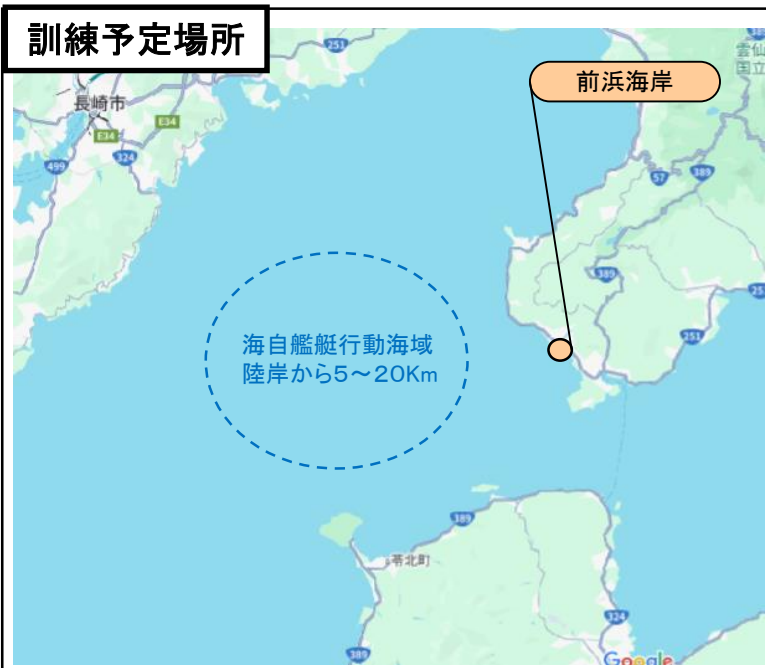
【参加部隊】 陸上自衛隊：水陸機動団ゴムボート(CRRC)×20艇、水陸両用車(AAV)×8両

海上自衛隊：掃海隊群、護衛艦(ヘリコプター搭載護衛艦(DDH)、汎用護衛艦(DD))×3隻、輸送艦(LST)×2隻 ※沖合で訓練をします。

【参加人員】 陸上自衛隊：水陸機動団約50名

※昼間及び夜間訓練を実施します。

訓練予定場所



訓練イメージ



陸自：ゴムボート(CRRC)



陸自：水陸両用車(AAV)



海自：輸送艦(おおすみ/くにさき)



海自：護衛艦(いせ)

長崎県内で実施を検討している訓練内容

②水陸両用作戦(空中機動訓練)

陸上自衛隊オスプレイが相浦駐屯地から上五島空港又は福江空港に水陸機動団の隊員を輸送する訓練を実施します。長崎県では、相浦駐屯地、上五島空港又は福江空港での離着陸を実施します。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月31日(金) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊:水陸機動団、第1ヘリ団(V-22×4機)※機数は増減する可能性があります。

【参加人員】陸上自衛隊:水陸機動団約100名

※昼間及び夜間訓練を実施します。

訓練予定場所



訓練イメージ



陸自 : V-22 (オスプレイ)

長崎県内で実施を検討している訓練内容

③航空作戦(基地防空部隊の機動展開訓練)

航空自衛隊の高射部隊が、総合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、海栗島分屯基地において機動展開訓練を実施します。なお、実弾の使用はありません。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月31日(金)のうち、8日間程度(準備・撤収期間を含む)

【参加部隊】航空自衛隊中部航空方面隊第6航空団(人員約30名、車両約15台) (いずれも調整中)

訓練予定場所



訓練イメージ



※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

長崎県内で実施を検討している訓練内容

③航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練)

陸上自衛隊及び航空自衛隊の高射部隊が福江島分屯基地へ機動展開し、器材の協同警備訓練を含む協同防空戦闘訓練を実施します。なお、実弾の使用はありません。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月24日(金)(準備・撤収期間を除く。)

【参加部隊】航空自衛隊(北高群)(人員約30名、車両約12台)、陸上自衛隊(教導隊、3高群、8高群)(調整中)

訓練の一例(イメージ)

訓練予定場所



機動展開訓練



協同警備訓練



※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

長崎県内(福江島)で実施を検討している訓練内容

③航空作戦(統合防空ミサイル防衛訓練)

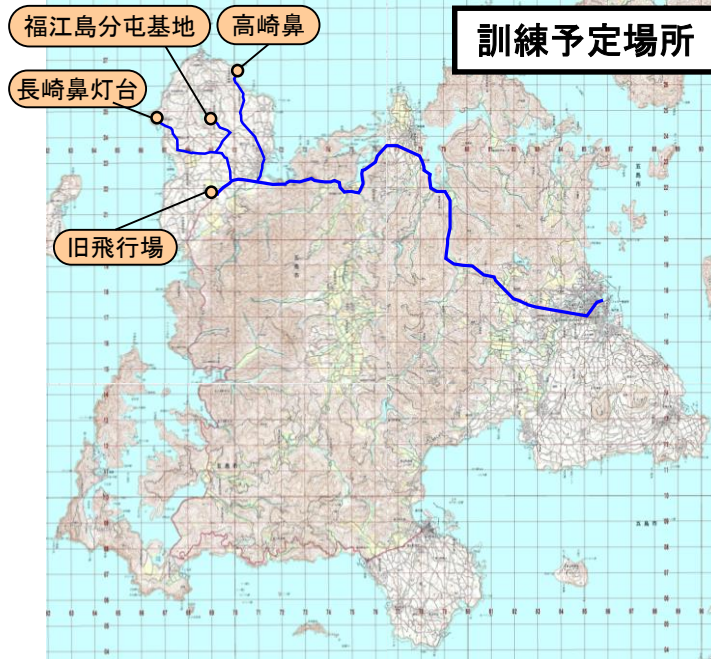
航空自衛隊が九州西方周辺空域で実施する統合防空ミサイル防衛訓練に参加し、戦闘機などに対する対処要領について演練します。その際、島嶼防衛を想定し、福江島に陸上自衛隊の中SAM(中距離地対空誘導弾)部隊及び航空自衛隊高射部隊(ペトリオット部隊)を展開させた対空戦闘訓練を計画しています。

【期 間】令和7年10月21日(火)～10月24日(金) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊:高射特科部隊

航空自衛隊:航空部隊、高射部隊

【参加人員】人員約50名、中SAM×2(最大)、P25、車両器材



訓練イメージ



機動展開



対空戦闘訓練

F-15戦闘機等



C-130H又はC-2輸送機



統合防空ミサイル防衛訓練

空自:PAC-3



対空戦闘訓練

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

長崎県内で実施を検討している訓練内容

④統合後方運用(機動(輸送)訓練)

航空自衛隊の輸送機により入間基地から福江空港までの機動(輸送)訓練を実施します。

【期 間】令和7年10月24日(金)(予備日:10月25日(土))

【参加部隊】航空自衛隊:航空支援集団

【参加人員】確認中

【使用装備品】航空自衛隊:C-2輸送機(調整中)

【実施地域】福江空港

訓練予定場所



訓練イメージ



- ・ 航空自衛隊入間基地から離陸し、福江空港まで機動します。
- ・ C-2輸送機は福江空港に着陸後、他の訓練には参加することなく入間基地に帰隊します。
- ・ F-15戦闘機と随行し飛行しますが、F-15戦闘機は福江空港に着陸することなく、上空で離脱します。

長崎県内で実施を検討している訓練内容

④統合後方運用(物資輸送訓練)

航空自衛隊の輸送機により築城基地から福江空港まで弾薬(模擬弾)の航空輸送訓練を実施します。

【期 間】令和7年10月22日(水)(予備日:10月23日(木))

【参加部隊】陸上自衛隊:第2高射特科団 航空自衛隊:航空支援集団

【参加人員】約20名

【使用装備品】陸上自衛隊:中SAM(中距離地对空誘導弾)模擬弾 空自:C-2輸送機(調整中)

【実施地域】福江空港

訓練予定場所



訓練イメージ



- ・ 航空自衛隊築城基地で陸自の中SAM弾(模擬弾)をC-2輸送機に搭載します。
- ・ C-2輸送機は22日に福江空港に着陸し、当該模擬弾を卸下します。
- ・ 卸下した模擬弾は陸自部隊が空港外に輸送します。

長崎県内で実施を検討している訓練内容

⑤統合電磁波作戦訓練

統合電磁波作戦訓練は、九州西方で実施される統合対艦戦闘訓練に連携して行われます。
本訓練のため、陸上自衛隊の電子戦部隊が、陸上自衛隊相浦駐屯地に展開し、電波状況の確認等を実施します。

なお、本訓練では実際に電波を発射する予定ですが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】

令和7年10月21日(火)～10月29日(水)

【参加部隊】

陸上自衛隊陸上総隊:約15名(車両(NEWSを含む。))×3両)

陸上自衛隊相浦駐屯地:約15名(車両(NEWSを含む。))×3両 (平素から所在)

訓練予定場所



展開する主要装備品



陸上自衛隊 NEWS*

※ NEWS:Network Electric warfare System(ネットワーク電子戦システム)
電波の収集等を実施

長崎県内で実施を検討している訓練内容

⑥統合通信訓練

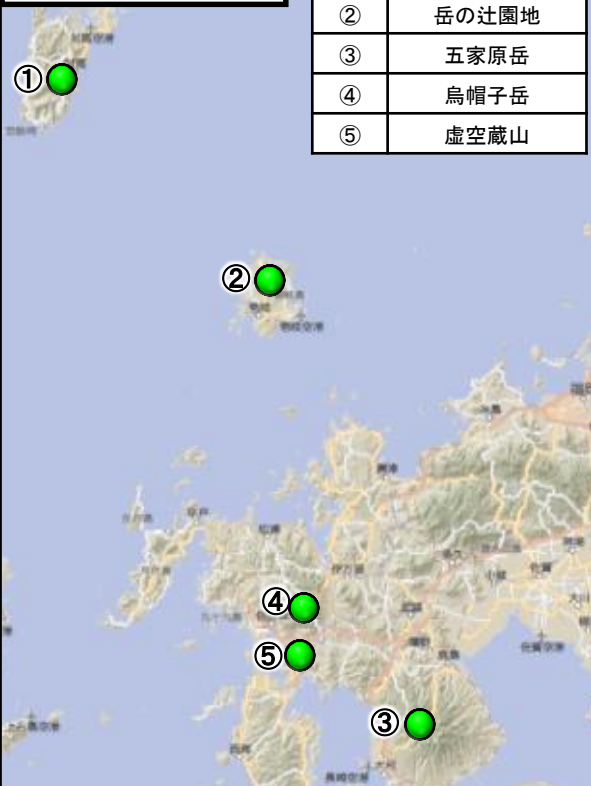
陸上自衛隊の通信部隊が展開し、各部隊による通信訓練(無線・中継)を実施します。通信訓練においては電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】令和7年10月18日(土)～10月28日(火) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を含む
※夜間訓練を含みます。

【参加部隊】自衛隊:陸上自衛隊(第4師団 第4通信大隊) 車両10両 人員25名

訓練予定場所

①	漁火公園
②	岳の辻園地
③	五家原岳
④	烏帽子岳
⑤	虚空蔵山



人数等

展開場所	展開する部隊
漁火公園	第4通信大隊 約5名
岳の辻園地	第4通信大隊 約5名
五家原岳	第4通信大隊 約5名
烏帽子岳	第4通信大隊 約5名
虚空蔵山	第4通信大隊 約5名

訓練イメージ



通信装置(中継装置)等の
展開及び無線の送信

長崎県内で実施を検討している訓練内容

⑥統合通信訓練

統合通信訓練は、通信回線を構成する訓練です。

本訓練のため、陸上自衛隊の通信部隊が対馬、壱岐、五島列島、福江島等に展開し、通信回線を構成いたします。

通信訓練においては電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月29日(水) ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊 西部方面システム通信群 約40名(車両:20両程度)

【実施場所】相浦駐屯地、対馬駐屯地、福江島分屯基地、旧火葬場又は権現山、岳の辻園地、虚空蔵山、高熨斗岳

訓練イメージ



【重搬送装置】

